



FIG株式会社（証券コード：4392）

決算説明資料

2026年12月期第2四半期

もっとワクワクして
未来がある。

- 01 | **会社紹介**
- 02 | **2026年12月期第2四半期決算概要**
- 03 | **事業のトピックス**

01 | 会社紹介



会社名 FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)

設立日 2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイイト設立は2002年

代表者 代表取締役社長 村井 雄司

所在地 大分県大分市東大道二丁目5番60号

資本金 30億円

従業員数 734名 (2025年12月末現在連結)





モバイルクリエイト

IoT・ペイメント

- ✓ IP無線システム
- ✓ 動態管理システム
- ✓ タクシー配車・バス運行管理
- ✓ ペイメントサービス



REALIZE

ロボット・オートメーション

- ✓ 半導体・自動車関連装置
- ✓ 金型・精密加工
- ✓ ロボット

ケイティーエス

IoT（スマートホテル向け）

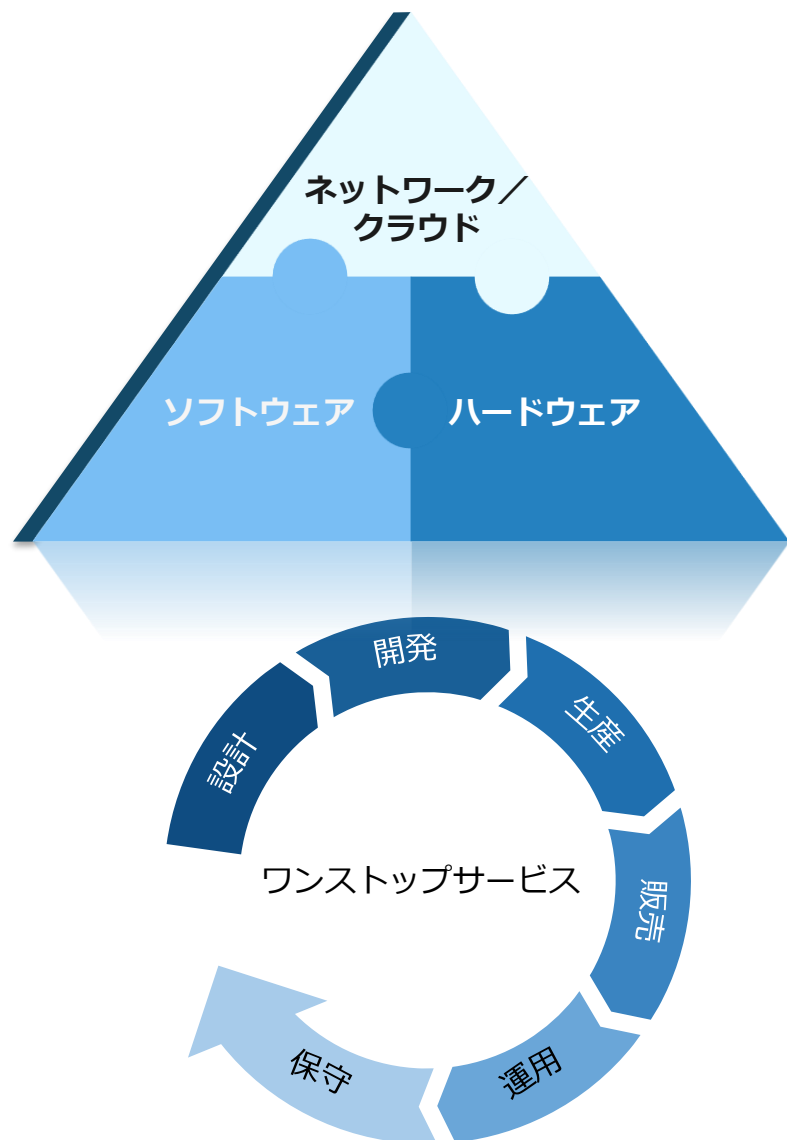
- ✓ マルチメディアシステム
- ✓ IoT基板製造



その他のグループ会社



- ✓ 物流システム
- ✓ ドローン
- ✓ 戦略開発基盤（グループ開発特化）



ソフトウェア

ハードウェア

ネットワーク/
クラウド

ソフトウェア・ハードウェア・ネットワーク/クラウドを横断的に自社で開発・運用できる技術基盤と、現場実装を通じたワンストップ提供力が強み。

ソフトウェアとハードウェアを一体で設計・開発することで、用途や現場特性に最適化されたハードウェアを提供するとともに、ネットワーク/クラウド基盤により多様なサービスを安全かつ安定的に運用。

この3つの技術領域をカバーすることで、IoT・ペイメントといったサービス領域にとどまらず、ハードウェアであるロボット開発や上位システムとの連携など、オートメーション領域の事業拡大が可能。

02 | 2026年12月期第2四半期決算概要

モバイルクリエイイトが業績を牽引し、ロボット・オートメーションでは高まる自動化ニーズを背景に中長期的な事業拡大を推進

■主要会社別

モバイルクリエイイト（主力・牽引）

タクシーの配車・ペイメント、バス関連サービスを中心に各事業が堅調に推移し、グループ業績を引き続き牽引。

REALIZE（成長領域）

AI半導体向けGPUパッケージの自動着脱装置は、台湾工場において量産工程を見据えた試験運用を実施中。中東情勢の影響を受け、自動車関連では設備投資の先送りにより一部装置案件の受注時期に影響を受けた一方、製造業の自動化ニーズは引き続き高く、搬送ロボットを含む自動化需要の取り込みを推進。

ケイティーエス（再成長フェーズ）

引き続き厳しい状況が続いているものの、営業体制の見直しに加え、収益力の強化に向けた事業構成の見直しを進め、再成長に向けた取り組みを推進。

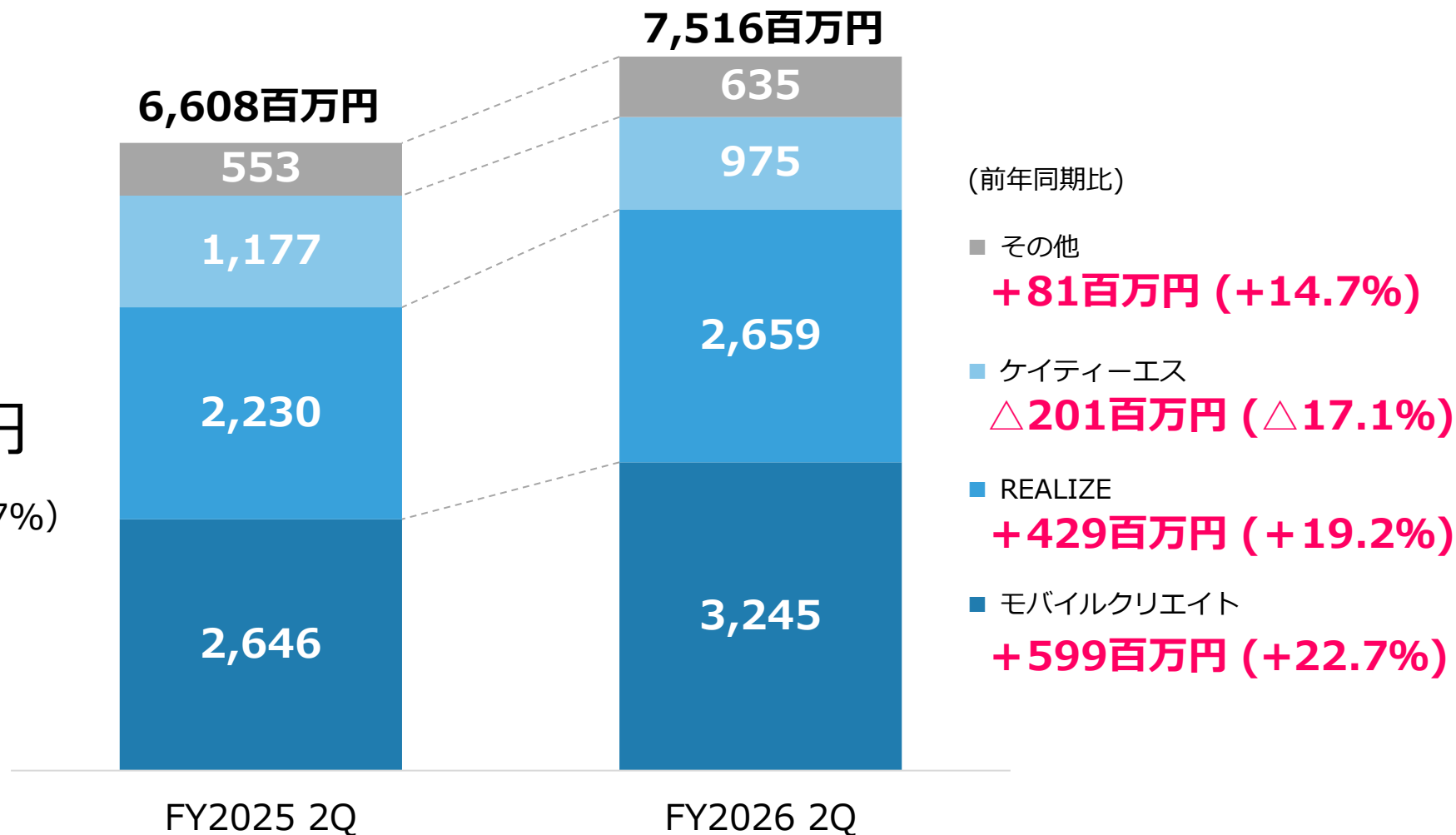
■中期経営計画（2026年12月期～2028年12月期）の進捗

最終年度KPIの達成に向け、IoT・ペイメントの収益基盤を強化するとともに、自動化ソリューションを中長期的な成長ドライバーとして事業拡大を推進。

FY2026 2Q 売上高

75 億円

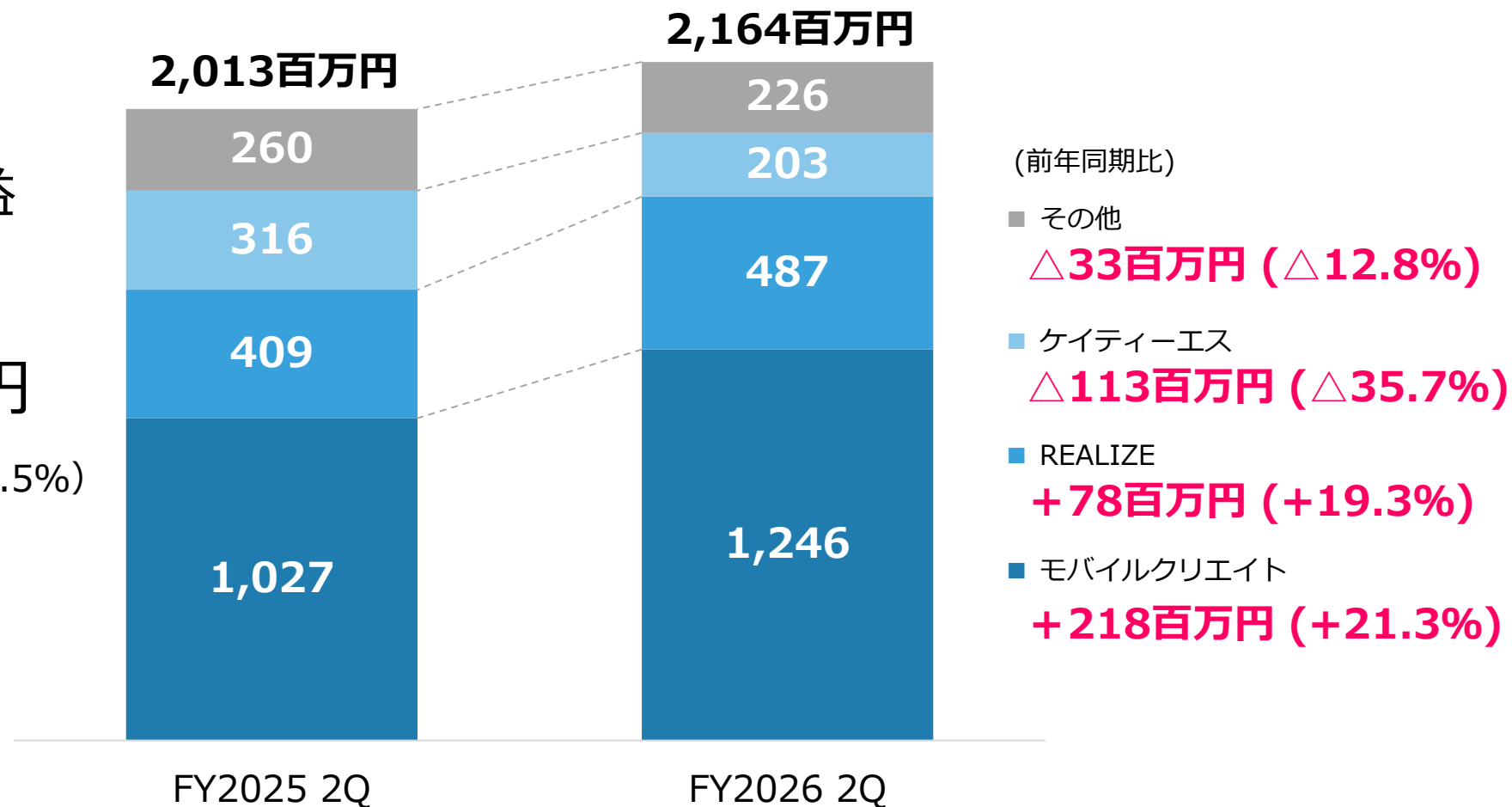
前年同期比：+907百万円（+13.7%）



FY2026 2Q 売上総利益

21 億円

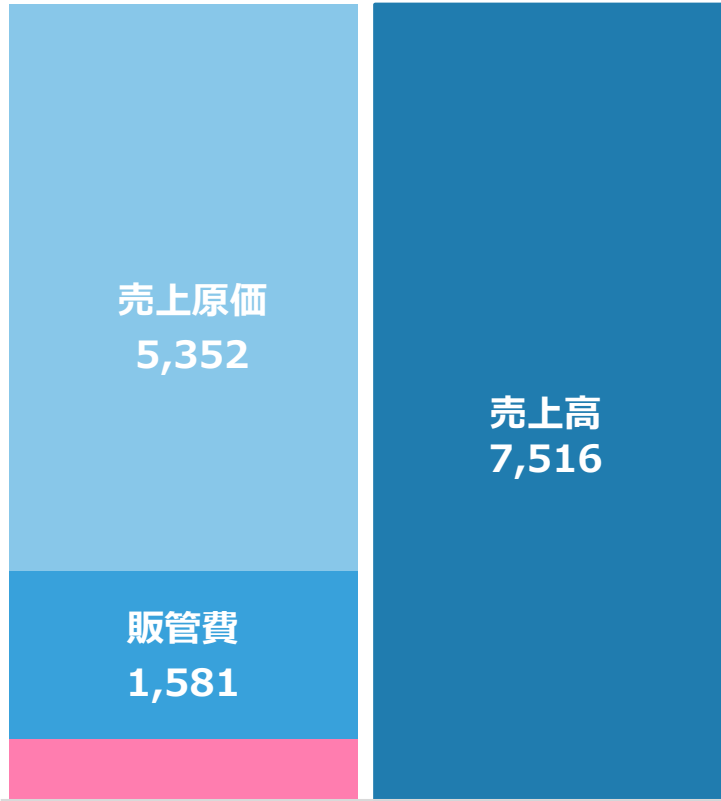
前年同期比：+150百万円（+7.5%）



営業利益 2Q（前年同期比増減要因）

収益構造

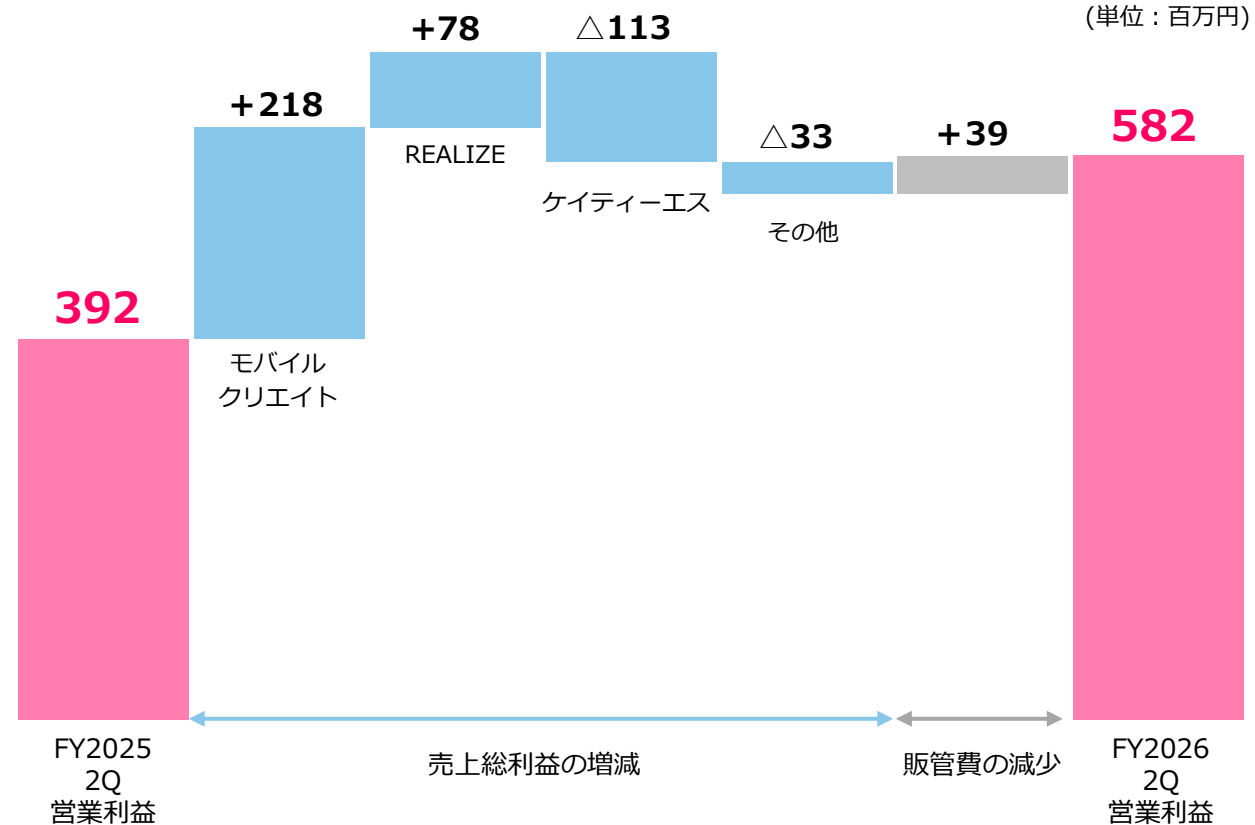
(単位：百万円)



営業利益
582

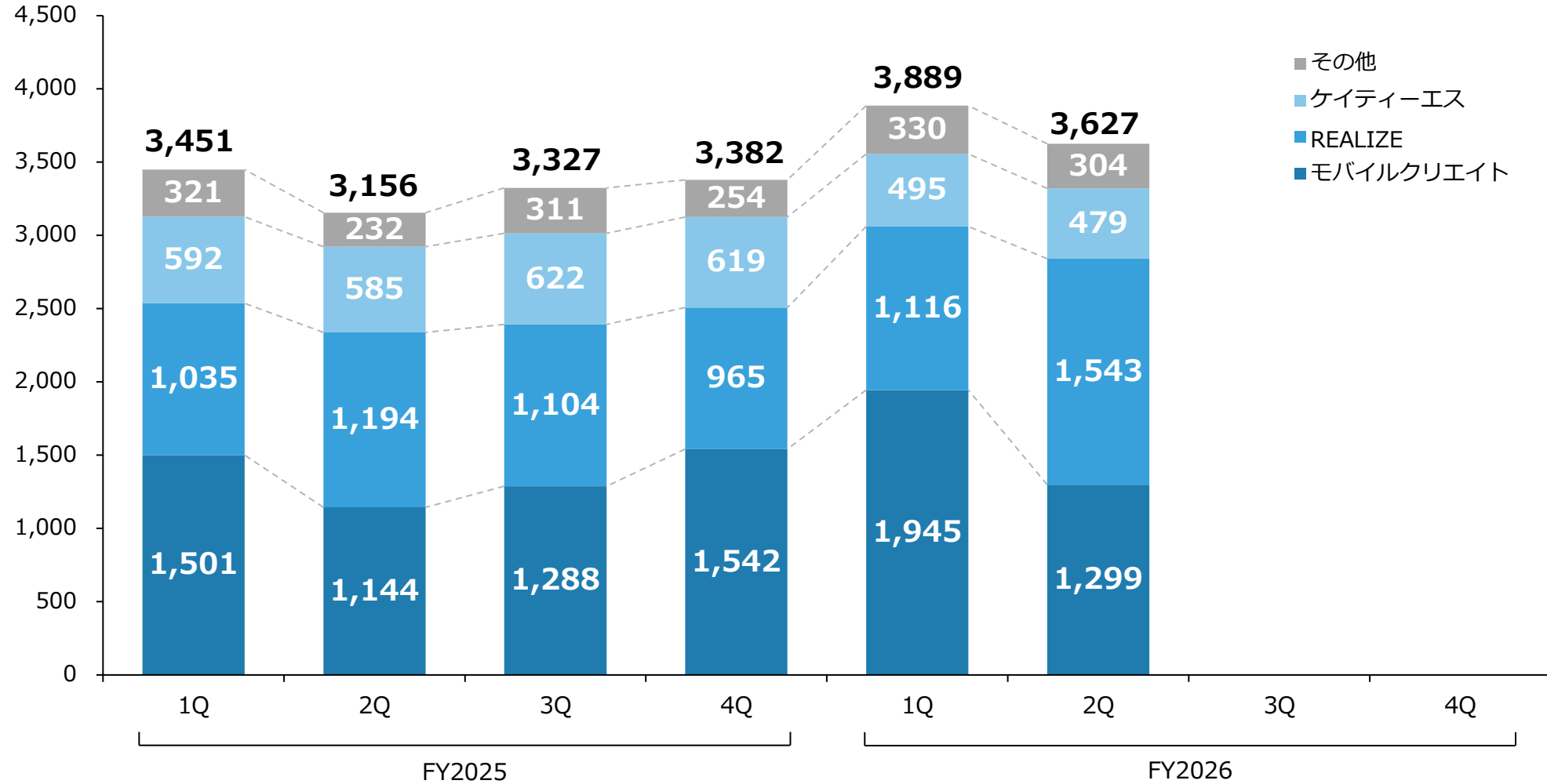
営業利益 **5.8** 億円
前年同期比：+190百万円（+48.5%）

(単位：百万円)

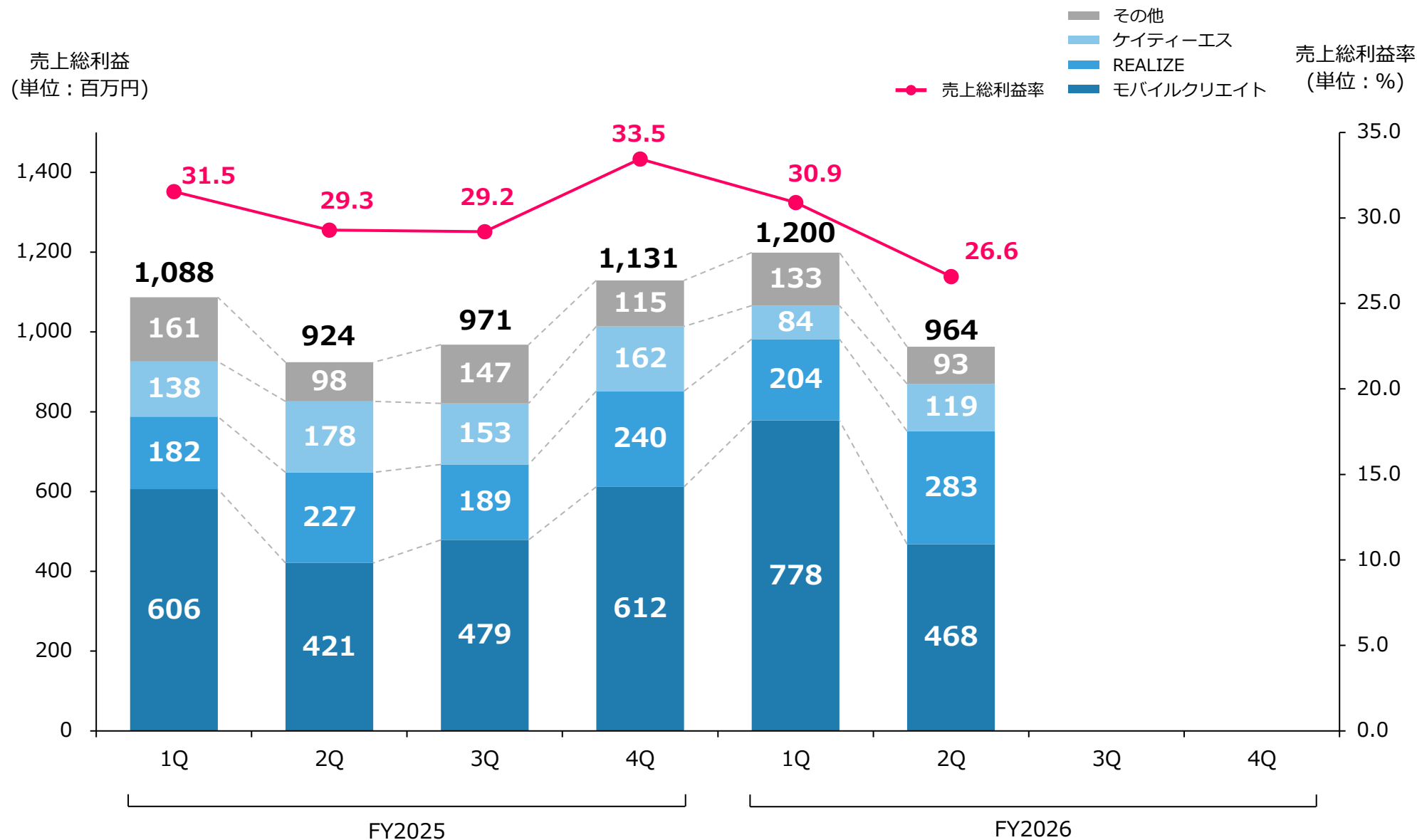


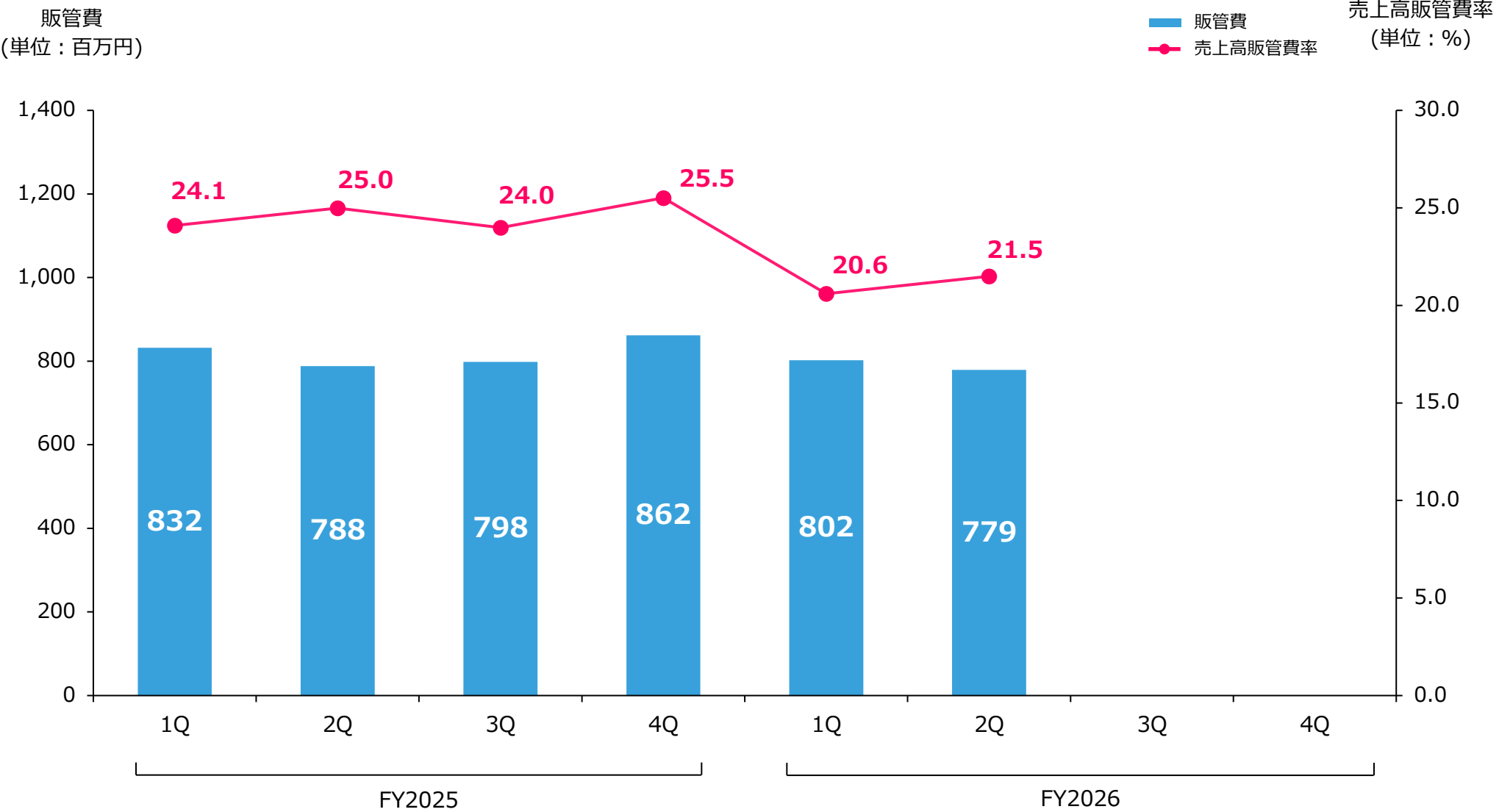
主要3社別 売上高 四半期推移

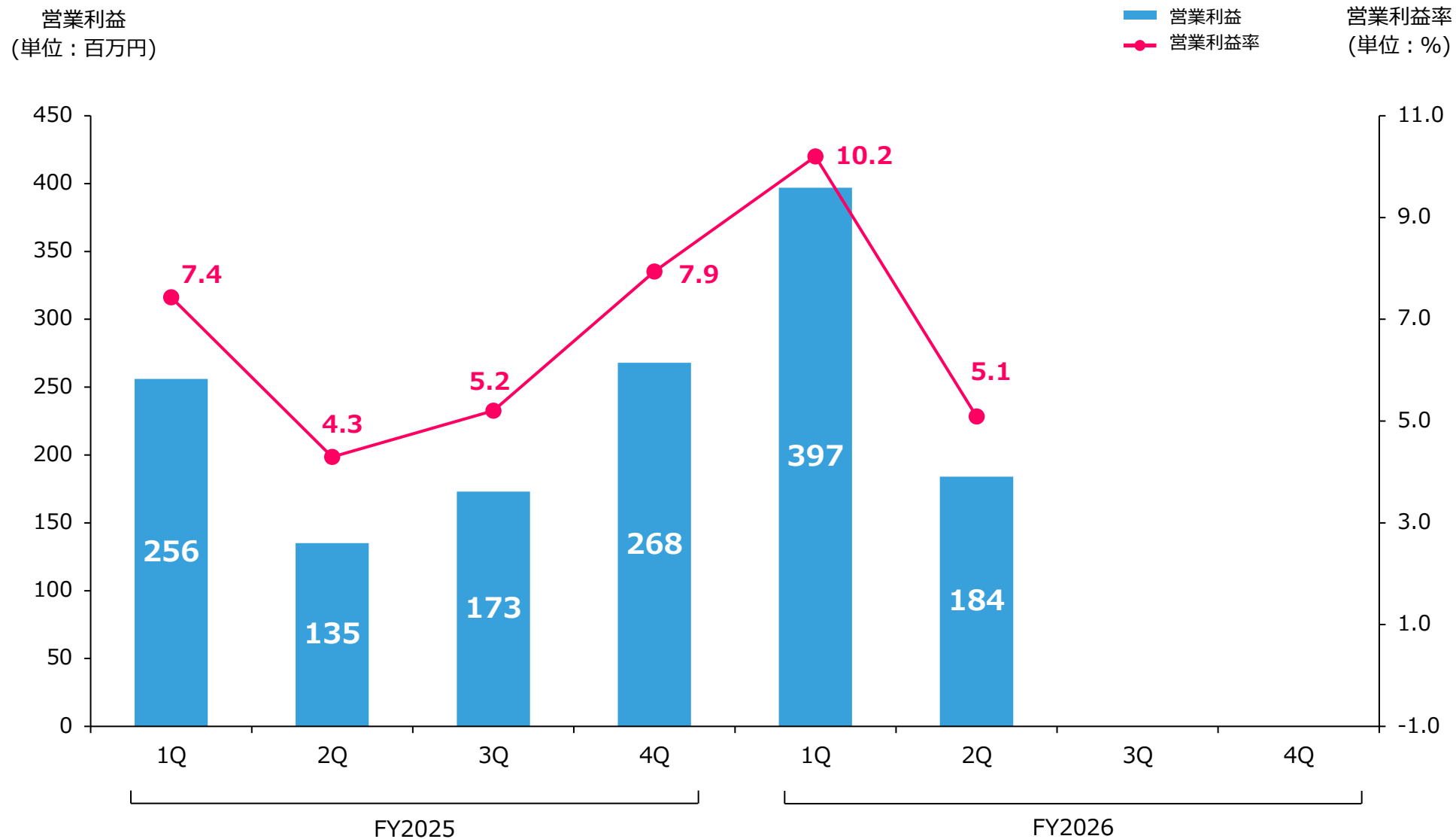
売上高
(単位：百万円)



主要3社別 売上総利益 四半期推移







連結損益計算書

(単位：百万円)

	FY2025 2Q実績	FY2026 2Q実績	前年同期比	通期計画	進捗率
売上高	6,608	7,516	+ 13.7%	14,000	53.7%
売上総利益	2,013	2,164	+ 7.5%	4,300	50.3%
販管費	1,621	1,581	△2.4%	—	—
営業利益	392	582	+ 48.5%	1,000	58.2%
経常利益	383	577	+ 50.8%	1,000	57.8%
最終利益	330	365	+10.6%	680	53.7%

※最終利益＝親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

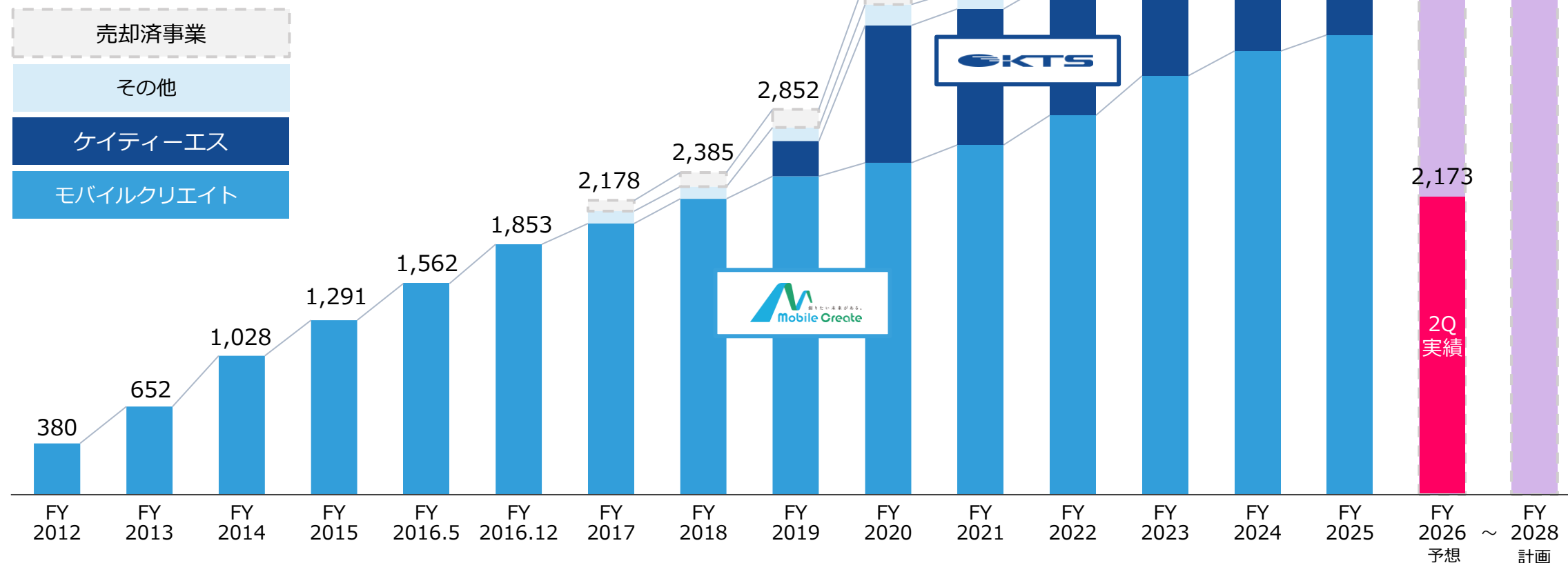
連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年12月31日	2026年6月30日	増減
現金預金	1,889	3,518	+1,628
その他流動資産	8,557	8,189	△367
固定資産	5,192	5,388	+195
資産合計	15,640	17,096	+1,456
有利子負債	3,303	2,165	△1,138
転換社債	500	—	△500
その他負債	2,972	3,518	+545
負債	6,776	5,683	△1,092
純資産	8,863	11,412	+2,549
負債・純資産合計	15,640	17,096	+1,456
自己資本比率	55.8%	66.1%	

基盤事業であるIoTのサブスク売上高

採算性も踏まえた事業ポートフォリオやサービス内容の最適化を進めつつ、サブスク売上高の積み上げにより中長期的な成長を図る

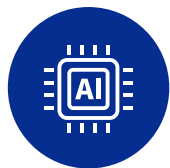


※当社設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績はモバイルクリエイト株式会社の連結実績で集計しております（2016年12月期は7ヶ月間のため、12ヶ月間に換算にて表示）

03 | 事業のトピックス

装置メーカーから、 自動化ソリューションメーカーへ 中長期的な成長に向けた取り組み

成長ドライバー



AI・半導体

×



ロボティクス

×



自動化市場
(工場・倉庫)

中長期の取り組みステップ

1



技術開発の
強化

高精度な制御、
自動化技術の
開発・強化

2



ソリュー
ション拡充

多様な業界・工程
に対応する
ソリューションラ
インナップを拡充

3



パートナー
連携強化

海外・国内パー
トナーとの連携
を強化し、シナ
ジーを創出

4



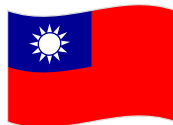
持続的な
成果創出

収益構造の強化と
企業価値の向上を
実現

最近の取り組み事例

品質評価工程で使用するAI半導体向けGPUパッケージの自動着脱装置を台湾企業と共同開発。

開発完了



先端半導体工程への取り組みの
一環として、台湾企業と連携し
た自動化ソリューション開発。



現在



台湾工場において、量産工程で
の活用を視野に試験運用中。
(GPUパッケージの自動着脱装
置)



今後の展開

試験結果の検証・改善を重ね、量産工程での活用を目
指すとともに、更なる自動化ソリューションと横展開
を推進。



本案件で培った技術を活用した自動着脱装置
を国内メーカーからも受注済

中外製薬工業株式会社宇都宮工場へ用水サンプリングロボットを導入

中外製薬工業株式会社の宇都宮工場内バイオ原薬製造棟（UT3）において、自社開発の用水サンプリングロボット「MoMa-SLIM」を導入



製薬用水の品質確認のために毎日実施されるサンプリング（検体採取）業務の自動化に活用

指定された採水ポイントへ自律走行にて移動し、所定の手順に従ったサンプリング操作や採取ボトルの開閉を自動で実施。採取完了後は、次のサンプリング工程へ移動、または指定の待機場所へ自動で帰還

作業の標準化・省人化

ヒューマンエラー低減



用水サンプリングロボット

MoMa-SLIM

REALIZE

制御・システム統合

+

他社連携

自律搬送ロボット（AMR）
ロボットアーム

サンプリング業務の安定運用を実現し、医薬品製造における品質保証体制のさらなる強化に貢献

有線給電により48時間の連続飛行を実現するドローン「R-7」

電源供給と通信を1本のテザー（ケーブル）で行う有線給電方式を採用することで、従来の課題であった飛行時間の制約を大幅に改善し、48時間連続飛行を可能にするドローンです。

国内最大規模のドローン専門展示会

Japan Drone2026で **初展示**



連続飛行時間
48 時間

主な活用シーン



激甚災害・通信途絶
地域での遠隔映像監視



山間部や大型インフラの
長期点検



自治体の防災・重要施設の警備
（国内サーバー運用）

主な特長



600V 高圧送電による「細径軽量テザー」で風に強い



トラブルを防ぐ「自動巻き取り給電ボックス」



コントロール信号の有線化による高い通信安定性



ネットワークRTK*によるミリ・センチ単位の高度維持

*高精度で位置情報を測定できるネットワークRTKに対応。



衛星通信「スターリンク（Starlink）」*対応による強靱なレジリエンス

*衛星通信を活用したブロードバンドインターネットサービス。
電波の届きにくい山間部などの不感地帯でもインターネット接続が可能です。

ホテル管理システム「HOTEL SMART」と連携した マルチ決済端末「PT-630」を東京都秋葉原のホテルへ初導入



ホテル管理システム 「HOTEL SMART」

チェーンのホテルからグランピングや戸建てまで全国4,500施設、75,000室以上の導入実績あり



マルチ決済端末 「PT-630」

社外POSシステムとの連携を可能にするAPI機能を搭載しており、各種業務システムと連携したスムーズな決済運用を実現

決済ベンダーの統一化

運用負荷軽減 コスト削減 サービス品質の向上

XXX（エイジィ）社との
業務連携を通じて
**全国の宿泊施設への
導入拡大を推進**



大阪シティバスのバス停留所へ サイネージ付きバス停のハードウェアの制作及び通信回線の提供



ハードウェア・SIM提供

スマートバス停

- ✓ 訪日外国人の増加・多様な交通利用者への対応
- ✓ 災害時や運行情報の即時周知



大阪シティバスでの取り組み

2025年より
150台導入 + 今後追加導入を
目指して活動中
運用開始



他地区への展開

全国より多くのバス停にスマートバス停
を展開（利用者の利便性向上）



Future Innovation Group

【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部
【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 T E L 】 097－576－8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。
これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。